

『学び合い』って
なんだろう？

In 東京フォーラム2011
オリンピックセンター(東京代々木)

『学び合い』山梨の会

市川 寛

(山梨学院大学附属小学校・短期大学)

学校の役割

人格の完成

学習集団づくり

よりよい社会を
共に生きる
人を育てる

そのための
ツールが
教育内容

いい授業？？？



いい授業!!!



一般的に語られるよい授業

- ・分かりやすい発問
- ・より高い価値へ導くための「教授」
- ・分かりやすい構造的な板書
- ・低位の子どもへの個別支援・指導
- ・主体的な作業・活動・体験
- ・学習集団作り適正に行われ機能している
- ・少人数・習熟度別指導などきめ細かな指導
- ・一人ひとりに寄り添った丁寧な指導

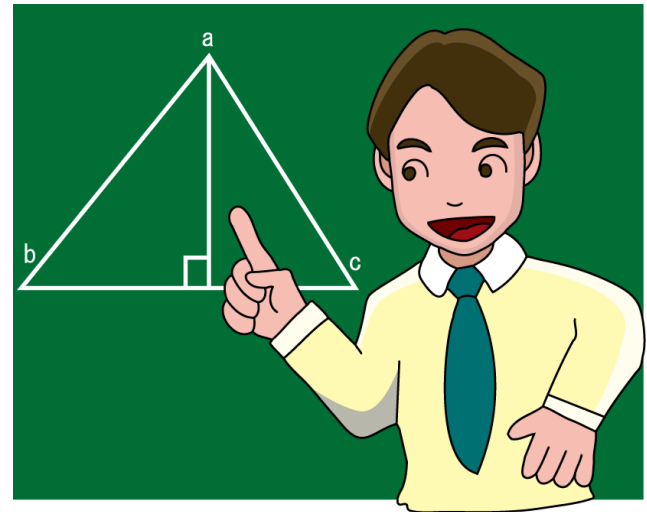


もっともなことだ！

よい授業を目指して！

一人ひとりに寄り添った、きめ細かな、ていねいな指導を目指そうと決意したA先生

授業の振り返ってみて・・・



4人しか・・・



25分かけてたったの4人・・・

- 机間指導で気になる子どもを一生懸命教えた。一人に6～7分。まだまだ不十分と思ったけれど・・・でも他の子どもはまったく見ない間に時間が・・・

教室には残り28名の子どもが次に進むのを待っていた・・・

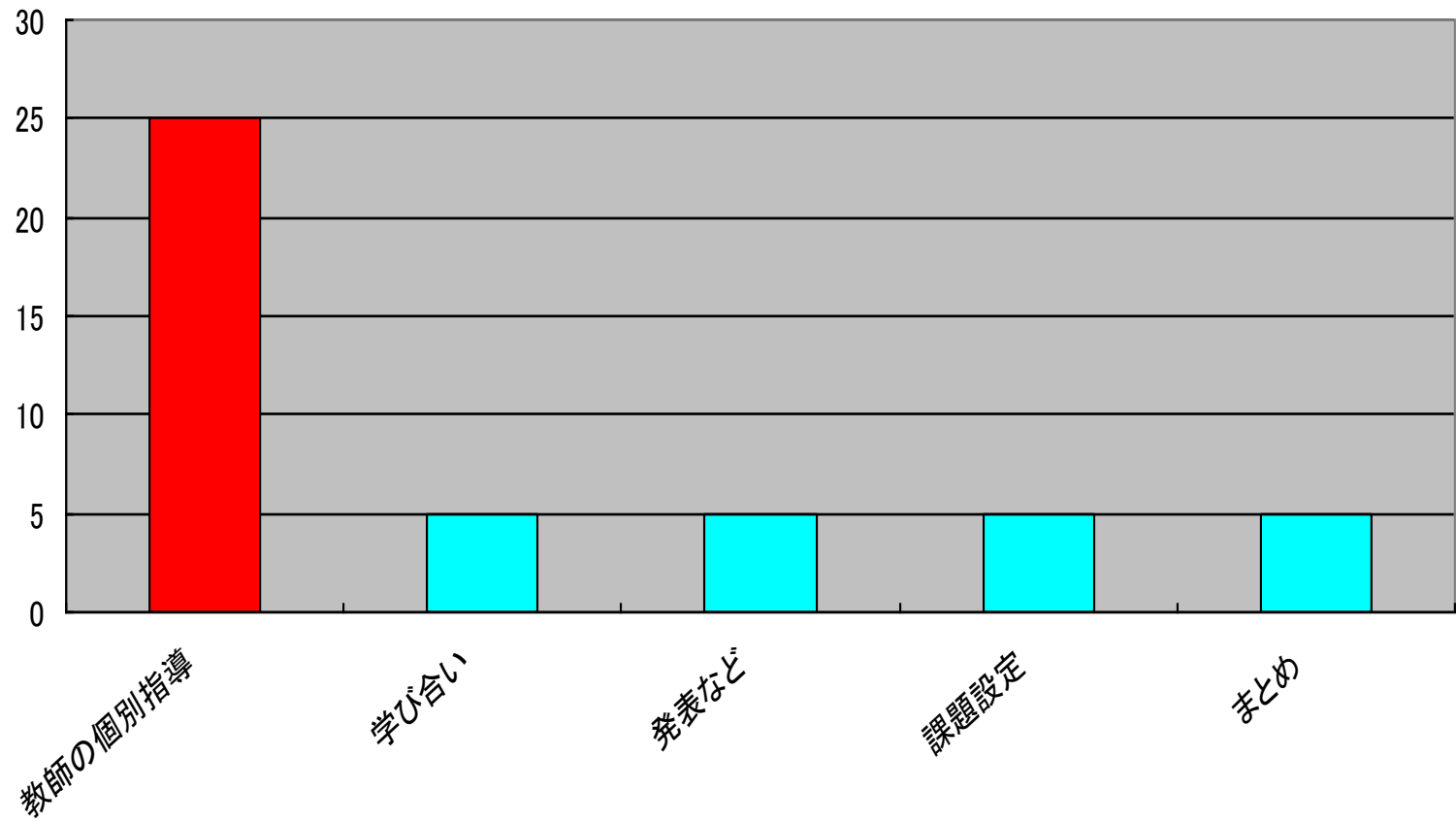


何とか**全員**
のために……



40秒

一般的な授業



全員に指導しようとする

$$25(\text{分}) \div 32(\text{人}) = 0.7(\text{分/人})$$

一人当たり約40秒の指導時間

仮に5人をターゲットにすると1人5分...

でもやっぱり
全員に対して
丁寧に
指導したい……



少人数

習熟度別

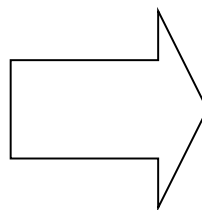
スモールステップ^o

1对1

少人数

習熟度別

スモールステップ^o



究極は
Man to man
なのか？





限界

目の前にいる子どもが 一人残らず

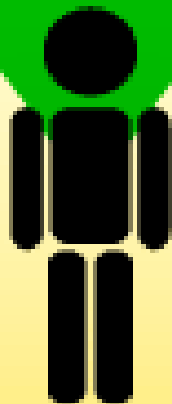
伸びる・できる
授業を目指したい



『学び合い』???

8割分かればすごい！

全員にこだわりたい



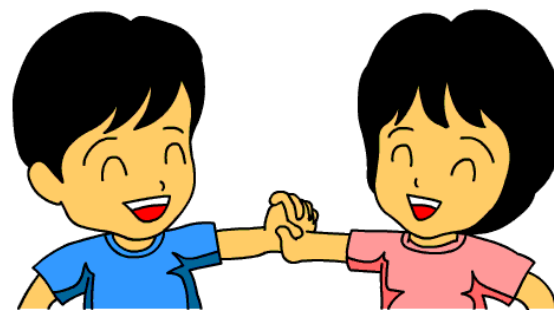
分かれ道

『学び合い』？



『学び合い』を始める動機

目の前にいる子どもを「一人残らず伸ばす」「全員が分かるようにする」「みんなが幸せになる」こと実現させたい





教師が
教えるから
分かる

教師主体

発想の**転換**





限界

教師が
教えるから
分かる

教師主体

子どもが
学ぶから
分かる

学習者主体

発想の**転換**

子どもたちと
それを取り巻く
学びの場について
考えます

『学び合い』の考え方 その1

学校観

人を育てる場所

異なる仲間と共に折り合いをつけながら学び、一人ひとりがよりよくなるために、高め合う場

『学び合い』の考え方 その2

子ども観

子どもたちは有能であると、信じること

教師が丁寧に教えなければ身につかないから、子どもたちは常に伸びようとする存在だと考える

構成主義、知の再構築(再構成)など

『学び合い』の考え方 その3

授業観

授業は教師が教えるのではなく、子どもが学ぶ場である

教師は子どもが学ぶために必要な学習環境を保障する

すべての子どもに対して、教師は、必ずしも最善の教え手ではないことを自覚

これらの考え方にたって

教師は、

学び手である子どもの能力を

最大限引き出すこと

を考えながら

授業をデザインします

『学び合い』は考え方です

- 『学び合い』という、どういう授業のことですか？と質問を受けたり、どうやったらできるのですか？と聞かれたりします。

『学び合い』は方法ではありません。
このような教育観(授業観、子ども観)に
たってデザインされた
すべての授業のことなのです。

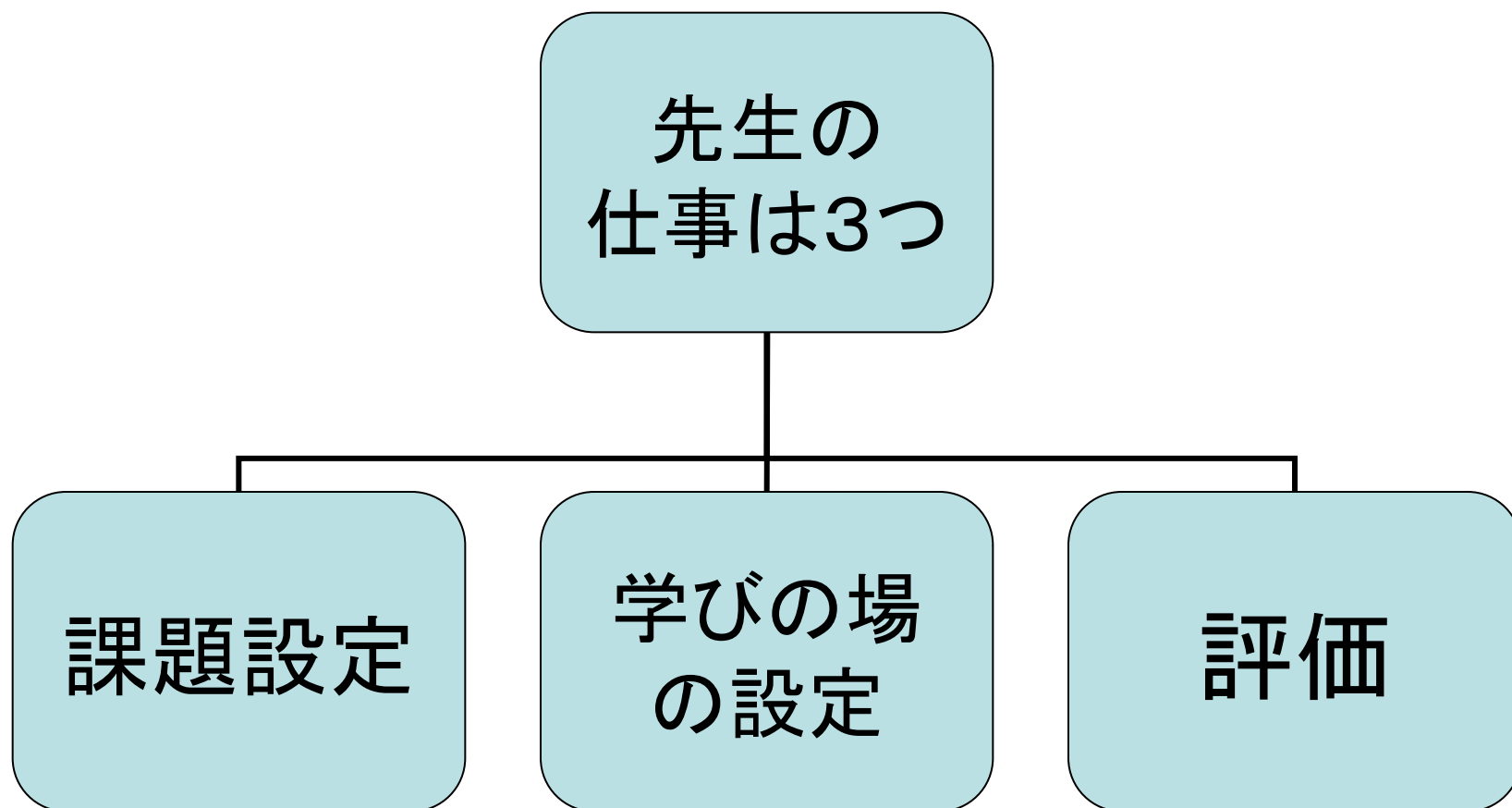
『学び合い』の授業では・・・



実際の授業はどのような雰囲気？



授業を行なう先生の仕事



1時間の授業では

学習問題を示します

課題がしっかりとつかめているか評価します

子どもたちの学びの様子を評価し
可視化します(初期)

じっくりと記録を取ることもできます

教師は教えるのではなく
学びの場を作ることに徹します

課題についての評価をします

『学び合い』の授業では

一人ひとりの子どもを大切にできます

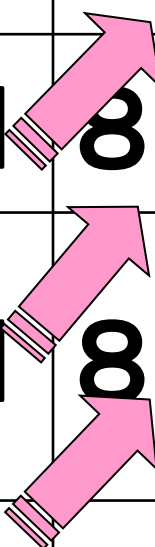
子ども同士の関係がよくなります

自ら行動する力が身につきます

いわゆる学力が向上します

テストの結果

	期待値	単元終了直後	1ヶ月後
かけ算かな わり算かな	83	87.1	94.8
あまりのある わり算	85	80.1	89.2
たし算と引き算 かかれた 数は いくつ	85	81.1	88.2
かけ算の 筆算(1)	85	90.8	88.0

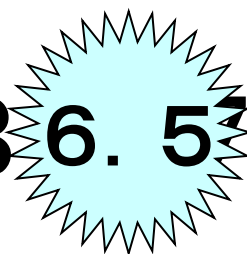
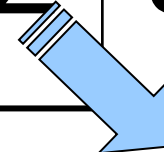
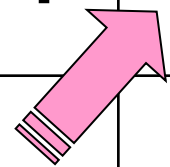


他クラスとの比較

数はいくつ)

(たし算と引き算 かくれた

	期待値	単元終了直後	1ヶ月後
調査学級	85	81.1	88.2
他学級 (2クラス64名)	85	83.2	86.5



上中下位生ごとの成績の変化

	単元終了直 後	一ヶ月後
A児	50	90
B児	60	85
C児	60	90
D児	35	85

平均35点
の上昇

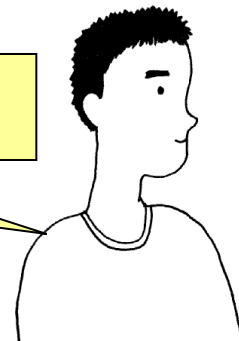
どうして
こんなことが
実現できるの？？？

個に応じた学習についての子どものとらえ (子どもに対するインタビューより)

分からないことを聞きやすかった！



先生よりも(分からないことを)聞きやすかった。



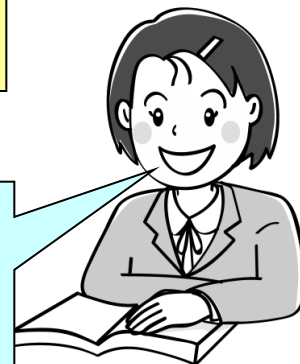
授業中に分かるまで聞いた。



友達の説明の方が分かりやすかったから。



先生だとどんどん(授業を)進めちゃうけど、
友達だと分からないところを教えてもらえた。



やる気になるぞ！『学び合い』

なぜ低位生がこのように伸びたのか？

なぜ、1ヶ月後の
成績が良くなった

よく分かった
算数が好きに

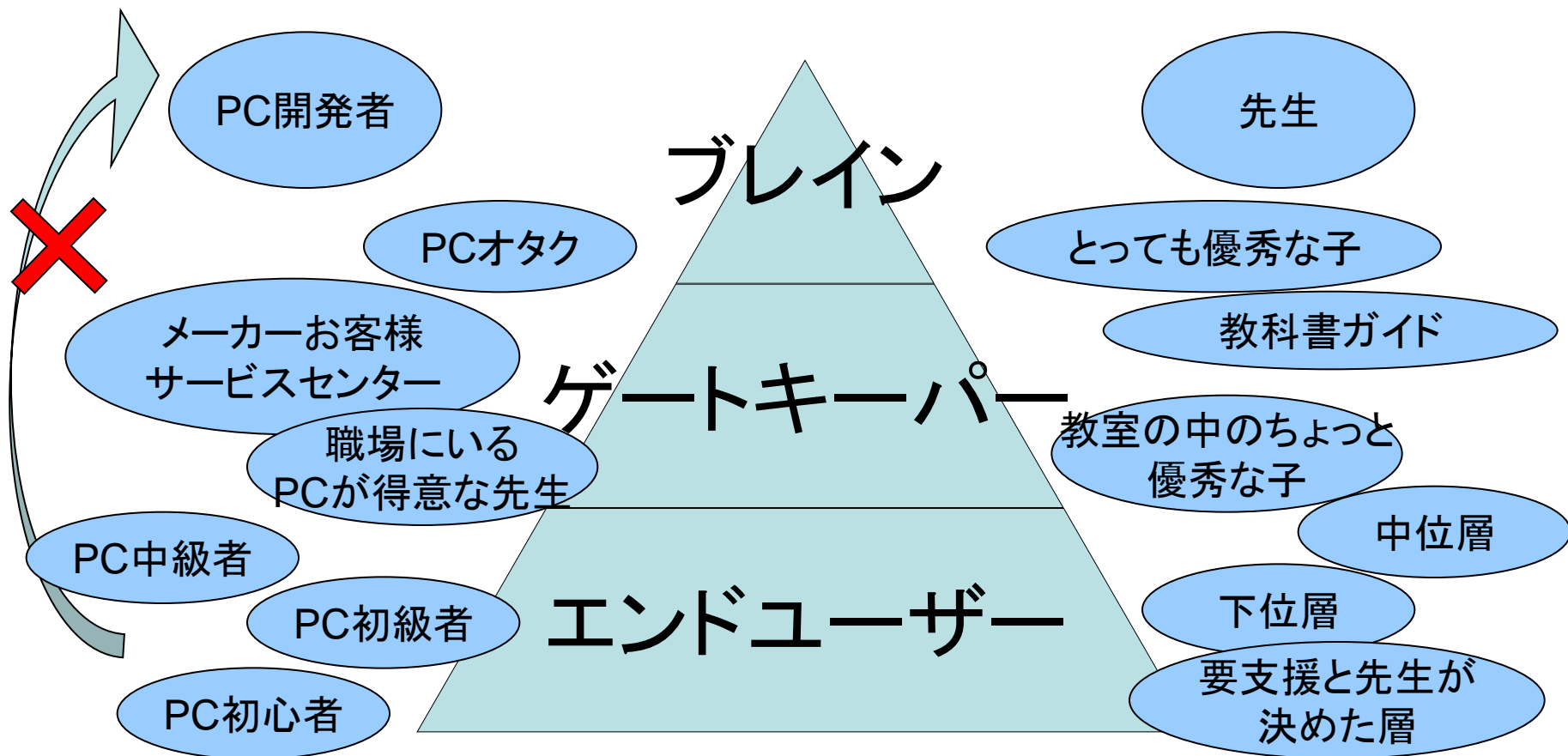
主体性を育てる

今回実践した授業が、学力の格差にかかわらず、
学習に対する意欲を高めた

算数がおもしろく
なって、学校以外
の場所でも勉強
するようになった
んだ。

友達に教えてもらったこと
を何となく思い出せた。

『学び合い』の仕組み(三崎など)



ブレイン

ゲートキーパー

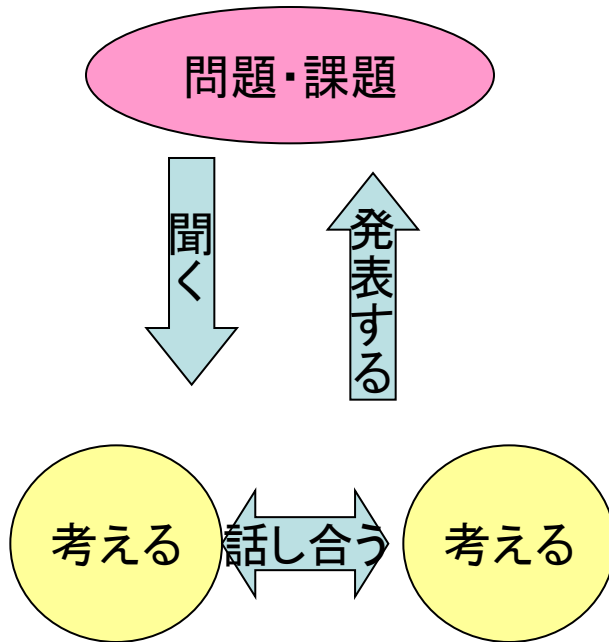
エンドユーザー

それぞれの

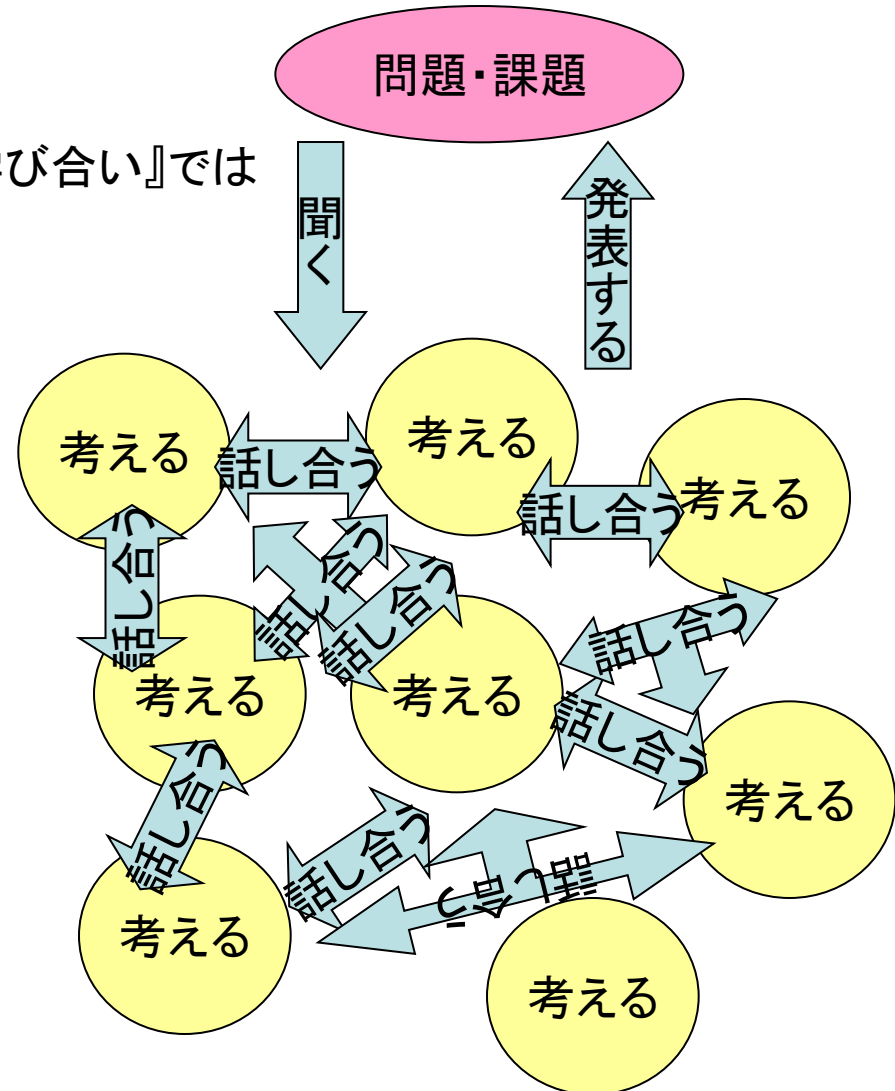
自由な交流

『学び合い』の仕組み2

通常の授業では・・・



『学び合い』では



シンプルな単線的な思考
ではなく

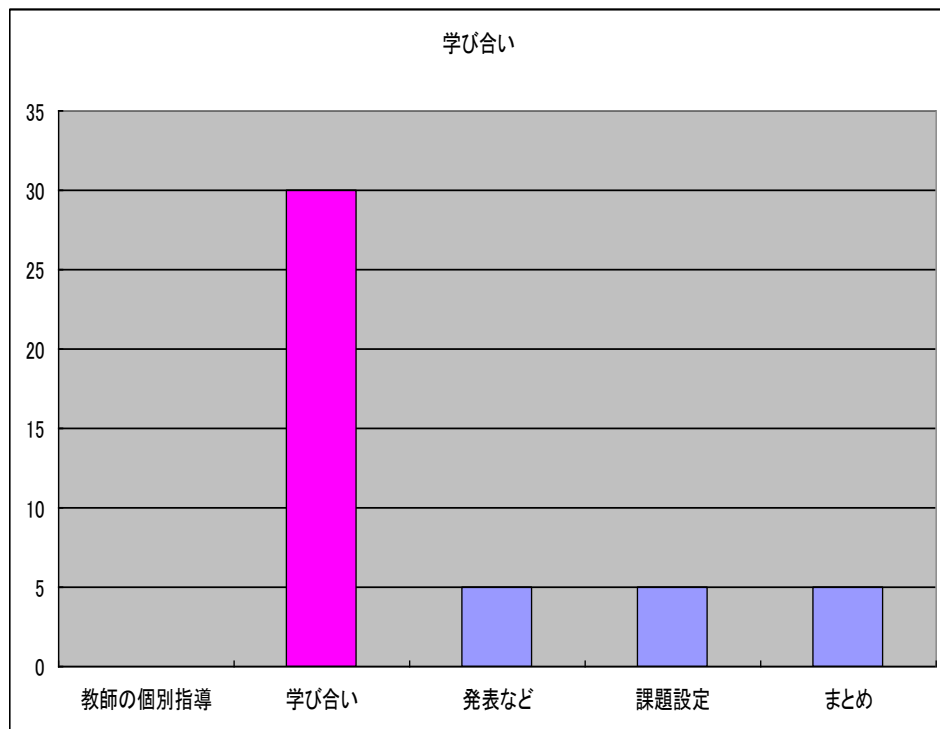
複雑で

複線的な思考

研究成果によると 1時間で延べ232分の学び合う姿が見られます。 $232(\text{分}) \div 32(\text{人}) = 7.25\text{分/人}$

一人当たり**445秒**

教師は児童の学習の様子を評価・記録することができる
「勉強しなさい」を言わない授業(西川2005・東洋館)



平均で445秒の学習時間の確保
必要なタイミングで必要なQ & A
複雑な知識のネットワーク

究極の

個に応じた指導

の実現

『学び合い』だ！



最初の語り

- 『学び合い』では教師の考えを子どもたちに伝える最初の語り(所信表明演説)が大切になります
- 先程述べた考え方をしっかりと伝えます

最初の語り その1

◇クラス全員が幸せになること

- ・全員が100点
- ・みんなができるようになったことを発表できること
- ・全員が、今日の授業で伸びたことを自己評価できること

など実情に合わせてやや高い目標を設定するのがよいと考えます。

最初の語り その2

◇そのために一番有効な方法で
学ぶこと

子どもの本気に応えること
学ぶ環境を保障することが大切

※必ずしもグループで学び合う必要は無いこと
に気づきましたか？

最初の語り その3

◇教師は最善の教え手ではない
ことを伝えること

全員が先生に教えてもらう授業が一番ではないのでは？「私が分かるための授業」という理解ではこの部分が難しいです。

最初の語り その4

◇出来るではなく理解すること

ただ「できる！」ではなく、理解することが大切だということをお納得してもらおう。
そのための課題づくりが大切だと考える実践者が多いです。

こんな質問があります

- これは教えてもいいのですか？
- 全部できない子がいるのですが？
- できる子は教えるだけで学べない！
- 学力はつくのですか？
- グループ学習をすればいいの？

基本に戻りましょう！『学び合い』は考え方です
その考えに立ち返って判断すればいいのです。
子どもは有能な存在なのです！

実践報告や参加者とのディスカッションでじっくりと！
一口に『学び合い』といっても
形は千差万別です！
考え方の部分で繋がっています！

『学び合い』に挑戦してみよう！

- 学術的な研究に裏打ちされた成果があります
- 多くの学校で取り組みが始まっています。
- 全国にたくさんの仲間がいます。
- 教科にかかわらず地域に気軽に相談できる仲間ができます。
- 仲間とつながることで教師として『学び合い』ながら成長することができます。

書籍紹介



三崎先生も執筆しています！

西川純 編
(学陽書房)

1800円+税

書籍紹介



三崎先生が執筆しています！

三崎 隆 著

(大学教育出版)

人間関係づくり
授業改善のための
学習課題研修会 in長野・いくさか

2011年8月21日(日)、22日(月)

課題作りと授業実践

- みんなで課題をつくって
- 実際に授業実践しちゃいましょう！

わたしも

中学校3年生の社会科で授業を行います！

その他 中1 英語科 中2 国語科

乞うご期待！